

ほっと

熱海のホット
ホットなニュース
熱意のホット
ほっとするホット

地域と熱海病院を結ぶ
ホットな情報誌

Ohta Atami Hospital
HOT 2017. APR. 1

No.21

太田熱海病院だより

編集・発行／太田熱海病院広報委員会

発行日／平成29年4月1日

住所／〒963-1383

郡山市熱海町熱海5丁目240番地

TEL (024) 984-0088

ホームページ：<http://www.ohta-hp.or.jp/>



太田熱海病院 航空写真



新副院長のご挨拶

内科系副院長 庄司 功

この度、内科系副院長を担当させていただきました。専門である内科消化器科領域だけでなく、関連して発生する様々な問題にも対処できるように、より広い視野にたって業務に取り組みたいと考えています。医療情勢は今後ますます厳しくなると聞いています。皆さんと一緒に考え、全てのスタッフが力を発揮できる職場環境をつくり、状況の変化に迅速柔軟に対応することによって、地域の方々に、より愛され、より貢献できる熱海病院を目指して、微力ながら尽くしたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。



最新デジタルマンモグラフィ装置を導入しました。

放射線部
技師長補佐 武田 美紀



『マンモグラフィは痛い』ってよく耳にしますよね。乳がんの見逃しを少なくするため乳房を薄く広げて撮るためですが、最近の装置は痛みを軽減させる配慮や乳がんの見逃しを少なくするための新しい技術が普及してきているのをみなさんにご存知ですか。今年1月に導入されたFUJIFILM社製「AMULET Innovality」は、ピンク色の部屋に柔らかな間接照明を搭載し、やさしく圧迫していくための機能的デザインが特徴です。最新技術の『トモシンセシス』という撮影も可能になりました。簡単に言えば乳房をスライス状に切ったマンモグラフィ画像を作り病変を見やすくした技術です。マンモグラフィでの一度の圧迫で、このトモシンセシスも続けて撮影が可能です。着替えやポジショニング等を含めた検査時間は約10分となり、今までのマンモグラフィのみの検査時間とそれほど変わりありません。現在は外科で精密検査として活躍しています。

従来の撮影法	トモシンセシス
X線 ↓	X線 ↓
乳腺と病変が重なり埋もれてしまっておりわかりにくい	上下にあるものが写り込まないため病変部（白いトゲトゲした部分）がよくみえる

～太田総合病院のホームページ・Facebookをご存知ですか？～

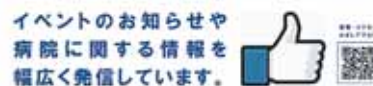
当法人では、附属病院・施設（太田西ノ内病院・太田熱海病院・介護老人保健施設桔梗など）に関する情報を、ホームページ・Facebookでも発信しています。

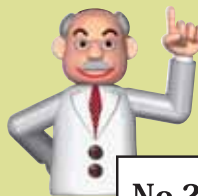
診療日割りや診療科など病院・施設等の紹介や、各種講演会・研修会、採用などの情報も随時掲載していますので、次のアドレスにアクセスしてみてください。

- 太田総合病院ホームページ <http://www.ohta-hp.or.jp/>
- 太田総合病院Facebook <http://facebook.com/0088ohtahp>

(Facebookはアカウントが無くても閲覧できます。アカウントをお持ちの方は、 をクリックして下さい。)

(法人 渉外広報室)





もっともっと知りたい体のこと!!

外科 部長 古川 義英

【乳癌の疫学】



女性において、乳癌の罹患率は1990年代より全ての癌種の中で最多であり、現在も増加傾向にあります。女性の12人に1人が乳癌に罹患しています。30歳代から増加しはじめ、40歳代後半から50歳代前半にピークを迎え、比較的若い世代で多くなっています。死亡者数は2015年度には13,542人にもものぼっています。

【乳癌のリスク】

乳癌の発症リスクを上げる因子としては、①早い初経、遅い閉経、②肥満、③アルコールの多飲、④喫煙、⑤出産、授乳経験がない、⑥ホルモン補充療法を受けた、等があげられています。この中で②、③、④は自分でコントロールできるので留意すべきです。一方、運動はリスクを下げると言われており、毎日の生活に取り入れると良いでしょう。

乳癌の治療においては早期発見がきわめて重要です。年齢に応じたマンモグラフィー併用検診を必ず受けてください。自分のために、そして家族のためにも。



極 端 な 糖 質 制 限 に つ い て

糖尿病内科 部長 山口 日吉



近頃、極端な糖質(一般的にはご飯や麺、パンなど)制限が話題になっています。確かに、ゆるやかな糖質制限は肥満の改善に一定の効果があり、それは様々な病気の予防に効果的ですが、反面、極端な糖質制限は悪玉コレステロールを増やしたり、総死亡率を上げてしまったという報告もあります。糖質制限に関する論文の多くは観察期間が短く、長期的な安全性が評価されていません。このため日本糖尿病学会は、現時点で極端な糖質制限(ごはんを全く食べないなど)は勧められないとして、最低でも総エネルギーの50%は炭水化物をとるように指導しています。病気によっても食べてよい糖質の量は変わってきますので、自分にあった正しい食事量を知るためには、一度栄養指導を受けていただく事をお勧めします。※炭水化物=糖質+食物繊維

医事課 課長 原 律

高額療養費制度は、患者さんやご家族の家計に対する医療費負担が過重なものにならないよう、暦月ごとの負担限度額を超える部分について、事後的に保険者から償還払いされる制度です。（医療機関の窓口での支払を、負担限度額までにとどめる現物給付もその一つです。）

平成28年12月、医療保険制度の持続可能性を高めるため、世代間・世代内の負担の公平や、負担能力に応じた負担を求める観点から、70歳以上の方々に対する高額療養費の見直しが公表されました。（下表）

現 行			第1段階 平成29年8月～平成30年7月			第2段階 平成30年8月～		
区 分	外来 (個人)	限度額 (世帯)	区 分	外来 (個人)	限度額 (世帯)	区分	外来 (個人)	限度額 (世帯)
現役並み	44,400	80,100 +総医療費の1% <44,400>	現役並み	57,600	80,100 +総医療費の1% <44,400>	※690 万以上	252,600 +総医療費の1% <140,100>	
						※380 万以上	167,400 +総医療費の1% <93,000>	
						※145 万以上	80,100 +総医療費の1% <44,400>	
一 般	12,000	44,400	一 般	14,000 (年間14.4 万円上限)	57,600 <44,400> ※※	一般	18,000 (年間14.4 万円上限)	57,600 <44,400> ※※
住民税 非課税	8,000	24,600	変更なし					
住民税 非課税 (所得が一定以下)		15,000						

※課税所得（収入から地方税法上の必要経費、所得控除等を控除した後の額をいいます。

詳細については市町村等の保険者へお問い合わせください。）

※※一般区分の限度額（世帯）については、多数回該当を設定（< >の金額）

また、65歳以上の医療療養病床に入院する医療区分Ⅰの患者さんについては、平成29年10月より入院時の光熱水費が日額320円から370円に引き上げとなり、医療区分Ⅱ・Ⅲの患者さんについては、平成29年10月より光熱水費として日額200円、平成30年4月から日額370円が負担となります。（難病患者を除く）。





甲状腺超音波検査 (エコー検査)

臨床検査部 係長 米倉 めぐみ

甲状腺は首の前側で喉ぼとけのすぐ下にあり、蝶を広げたような形をした臓器です。甲状腺では甲状腺ホルモンが作られ、主に新陳代謝の促進や、脳や骨の成長、発育、神経と精神のコントロールなど、重要な働きをします。甲状腺の病気には、しこりをつくるものやホルモン異常をきたすものなどがあり、その鑑別診断にはエコー検査や甲状腺ホルモンの血液検査などを行います。

エコー検査とは、周波数の高い音を身体に当てて、その反射の映像をモニター画面に出して観察する方法です。甲状腺のエコー検査は、喉に小さな機械を当ててその大きさや形、内部を観察して、しこりや腫れの有無を詳しく調べます。検査時間は約15分で、痛みもなく、安心して繰り返し行える検査なので、甲状腺の病気の診断や経過観察には極めて有用です。

当院でもエコー検査や血液検査を行っていますので、お気軽にご相談ください。



当院は「県民健康調査」甲状腺検査の 実施機関に指定されました！

福島県では震災時に18歳以下で福島県にお住まいの方を対象に甲状腺検査を実施しています。甲状腺検査の案内を受け取られた方で市町村ごとや小中高等学校単位での検査を受けることができなかった方は当院でも検査を受けることができるようになりました。ご予約は福島県立医科大学で行なっています。詳しくは福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターまでお問い合わせ下さい。

当院での実施日時は下記のとおりです。どうぞ当院をご利用下さい。

日時：火曜日 14:30～16:30
木曜日 14:30～16:30
土曜日 9:30～12:00



お問い合わせ

福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター
放射線医学県民健康管理センター

電話：024-549-5130
(土日祝日を除く 9:00～17:00)
メール：kenkan@fmu.ac.jp

放射線医学県民健康管理センター × 検索

その21

院内 歩き

院 見て

グリーンカフェ

熱海地域包括支援センター
所長 竹内 眞里子

平成28年11月25日、太田熱海病院地下ラウンジにグリーンカフェがオープンしました。グリーンカフェは病院へ通院されている方、入院されている方、地域の方どなたでも利用できるカフェです。でも、普通のカフェと1つだけ違う所があります。それはウェイトレスが医療・介護・福祉の専門家が担当している所です。カフェを利用された方が医療・介護・福祉について、相談したいと思っていた事を気軽に話すことができる所なのです。

カフェでは毎回、健康に関するミニ講座やレクリエーションを行っています。第2回目では太田熱海病院薬剤師による正しい薬の飲み方についての講座と地域の方によるクリスマスコンサートが行われました。薬に関しては皆様が日頃から不安に思っている事を質問し、薬剤師に答



えてもらうことが出来、安心された様子でした。クリスマスコンサートでは会場と演奏者が一体となり、歌や踊りで大変盛り上がっていました。（写真の演奏者は平均年齢90歳の地域ボランティアの方々です。）
グリーンカフェは「毎月第3金曜日13時～15時まで」太田熱海病院地下ラウンジ（参加費200円）で開催しています。ぜひ、皆様お誘い合わせの上、お越し下さい。毎回、おいしいお菓子とコーヒーを準備してお待ちしております。

熱海病院隣接の 研修センター緑風苑の塀に 壁画が完成いたしました。



これは、福島県の地域創生事業を活用した郡山市の磐梯熱海観光協会の温泉街活性化のプロジェクトの一環への協力ということで完成したものです。壁画は高さ2メートル、長さ40メートルの大きさがあり、福島県の花のネモトシャクナゲや、県の鳥のキビタキなどが描かれております。



描いた方は、人気画家のフランキー・スイーヒさんです。県内の被災地をボランティアで何度も訪れて下さっている方で「観光客が県内を訪れるきっかけをつくるのに役立てればうれしい」と今回のプロジェクトに臨まれたとうかがっております。



制作中のフランキーさん

熱海町には他にも福島大学の学生さんによる「あんどんオブジェ」や「ウエルカムフラック」などのアートが設置されております。ご覧頂ければ幸いです。

高齢者の運転について

作業療法科 主任 稲村 卓哉

近年、高齢者や障害を持つ方による危険運転が社会問題となっております。自動車の運転は、その方の生きがいの継続や生活の質に深く結びつくため、一律に禁止するというのではなく、その方々が安全に運転を継続出来る支援が必要であると言われています。

そういった社会背景を踏まえ、平成28年に「運転支援チーム」の立ち上げをいたしました。具体的には、障害（認知症を除く）をお持ちの方への法制度や各種手続きについてのアドバイス等を行い、医師の診察への橋渡しも行っております。

また、今年度からの新たな取り組みとして、運転可否の判断が難しいケースに対し、地元の自動車学校と連携して、教習所内や路上で実際に車を運転していただき評価を行っております。これらの評価を行うことで実際の運転場面での運転技能や判断力の評価をすることが可能であると感じています。

今後の展望としては、自動車学校や行政等との連携を強化し、残念ながら運転を継続する事が難しいと判断（診断）された場合には、自主返納を勧め、運転の継続が出来なくなった後の生活支援にも一緒に取り組んでいきたいと考えております。



「自動車学校内の教習コースで実際に車を運転し評価している場面」
患者さんが実際に教習所の車を運転し、助手席の教官が運転のアドバイスや運転技術等の評価を行っています。後部座席には病院のリハビリスタッフが同乗し、様々な場面での注意力や判断力等の評価を実施している様子です。



春の日差しが心地よく、過ごしやすい季節になりました。今回は旬の春キャベツを使った寿司ケーキを紹介いたします。春キャベツは葉が薄くて柔らかいので生食に向いています。免疫力を高めるビタミンCを多く含み、冬キャベツの約1.3倍といわれています。胃腸の粘膜を保護・修復したり、胃酸の出すぎを防いでくれるビタミンUも含まれます。ビタミンUは「キャベジン」とも呼ばれます。肝臓の解毒作用を助ける働きもあるので、二日酔いにも効果があります。

1人分のごはんは約70gと少なめですが、シャキシャキの春キャベツでボリューム満点なヘルシー料理です。お祝いやホームパーティーにいかがでしょうか。ぜひお試しください。

〈栄養部 管理栄養士 佐藤有紗〉



材 料
(直径15cmケーキ型 1個分 約6人分)

春キャベツ ……………300g
塩……………少々
桜でんぶ……………10g
ごはん……………400g
酢生姜……………20g

＜甘酢＞

酢……………大さじ2
砂糖……………大さじ2

＜飾り用＞

スモークサーモン……………50g
鶏卵……………1/2個
油……………3g
花型にんじん……………5g
きぬさや……………3g

一人分 エネルギー／172kcal たんぱく質／5.7g 塩分／1.0g

作 り 方



①春キャベツは千切りにしビニール袋に入れ、塩を加えてもむ。袋の空気を出して口を縛り、水気が出てきたら水気を絞り、甘酢をからめる。

②酢生姜をみじん切りにし、ごはん混ぜ合わせる。少し冷まして粗熱を取る。

③スモークサーモンでバラの形を作る。卵は錦糸卵にする。にんじんときぬさやは茹でて、にんじんは花型に型抜きをする。

④型にラップを大きめに敷き、1のキャベツを半分敷く。2のごはん半分敷き、桜でんぶ、残りのキャベツを順に敷き、最後に残りのごはんを重ねて押さえる。

⑤④を皿にあける。(ラップは外す。)

⑥③を飾って完成です。

太田熱海病院広報委員会

◆委員長 藤井 亮司
◆委員 大内 智子・馬場 智恵・風間 由美
小堤 祐紀・武田 美紀・佐藤 有紗
伊藤 会恵・眞船 市雄・安部 一秀

(広報委員会)
(安部 一秀)



奏会であった。
なければならないと実感させられた演奏会であった。

一つ行い、皆で力を合わせていかなければならないと実感させられた演奏会であった。

編集後記



1月9日郡山市の「みんなで歌う第九の会」を聞いてきた。第九といえは年

末というイメージであるが、同会は復興を音楽の力で助けようとしてきたそうである。開催初年度は、

2013年(平成25年)から開催してきたそうである。開催初年度は、

第4楽章の合唱のみをオルガン演奏で行ったそうであるが、4回目となる本会は500人を超える規模となり合唱は重厚で迫力があった。開催

初年度と同じ年に太田総合病院も一般財団法人となった。この合唱に負

けないようなハーモニーを奏でられるよう自分たちができることを一つ

一つ行い、皆で力を合わせていかなければならないと実感させられた演奏

奏会であった。